

# 単独作業時の災害を防止するための基本的事項

## 単独作業

車両系鉱山機械・自動車の運転  
プラントの運転・監視、機械の修理・整備及び構内巡視…等

- ・監視されない
- ・災害発生への認知が遅れる

- ・ルール無視
- ・ヒューマンエラー
- ・重篤化

### 1. 単独作業に係るリスクアセスメントを徹底しよう！

- ・単独作業が可能かを確認
- ・連絡手段の確保

### 2. 単独作業の作業手順を見直し、整備しよう！

### 3. 単独作業者に対する教育を継続的に実施しよう！

### 4. KY活動を積極的に実施しよう！

「一人KY(自問自答)カード」の例

#### 一人KYカード

1. 落ちないか
2. 挟まれないか
3. 巻き込まれないか
4. ぶつからないか
5. 転ばないか
6. 感電しないか
7. …等

ヨシ！

### 5. 指差呼称をハッキリと大声で行おう！

大きな声、大きな動作で指差呼称

経済産業省 産業保安G 鉱山・火薬類監理官付  
各産業保安監督部(支部・事務所)

発行:2019年4月

# 単独作業時の対応事例

## 選鉱場内ベルトコンベアキャリアローラー交換作業が発生

### 作業内容の確認(現場確認)

#### リスクアセスメントの実施

- 交換箇所状況(ベルトコンベアの高さ、歩廊の状況)により作業内容も異なってくることから、必要に応じて、既存作業手順書で保安上問題ないか、関係者で事前確認を実施する。
- 高所ベルトコンベアキャリアローラー交換作業において、歩廊のさく囲から身を乗り出して作業を行う場合は、高所作業等のリスクアセスメントを実施し、リスク低減対策(本質安全対策、工学的対策、管理的対策)を検討する。
- 本質安全対策、工学的対策を早急に実施することが困難である場合は、管理的対策(配電盤に「ローラー交換中」の表示札、危険箇所の見える化等)を検討し、併せて安全帯等の個人用保護具の使用を義務付ける。
- 本質安全対策、工学的対策等の実施に向けた工事スケジュールを検討する。

※必要に応じて作業手順書等の見直し

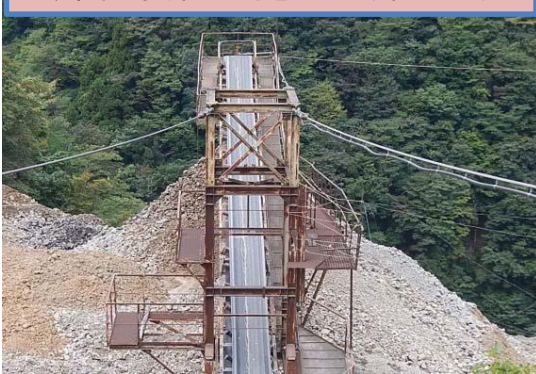
#### 本質安全対策、工学的対策の実施

- 高所作業車の導入
- 高所ベルトコンベアの両歩廊化
- 配電盤にストッパー、ロックピンク等を設置など

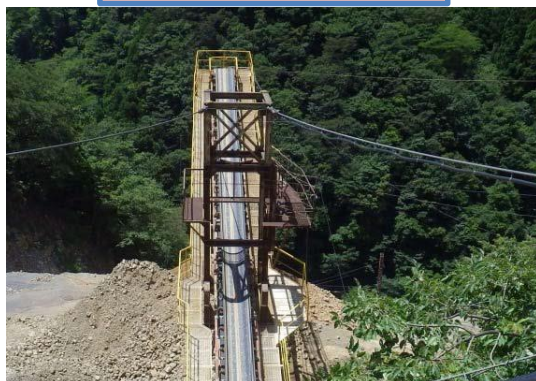
#### 作業責任者等が、全作業者に対して作業手順等に関する教育を実施

- 作業者には作業手順を熟知させ、安全帯等の個人用保護具の正しい使用方法について、周知徹底する。
- 非常時の連絡体制、連絡方法について、周知徹底する。
- 請負労働者に対しても、事前の連絡調整に抜けがないように留意する。
- 一人KY、指差呼称等の確実な実施を周知徹底する。
- 全作業者に「自分の身は自分で守る」意識を浸透させる。
- など

#### 改善前: 歩廊から身を乗り出す高所作業



#### 改善後: 両側歩廊化



#### 一人KY(自問自答KY)の例

- 現状把握(危険要因の有無を確認)
- 本質追究(危険ポイントを決め、~なので~になる)
- 目標設定(行動目標を決め、~を~して~しよう)
- ワンポイントを決め、「〇〇ヨシ！」

#### 一人KYカードの例

##### 自問自答項目

1. 墜落しないか? 転落しないか?
2. 落ちてこないか? 巻き込まれないか?
3. 挟まれないか? 巻き込まれないか?
4. 切れないか? こすれないか?
5. 転ばないか? 踏み抜かないか?
6. ぶつからないか?
7. 感電しないか? やけどしないか?
8. 腰を痛めないか?
9. 異物が目に入らないか?